

地域での活動

防災訓練

2月4日(日)、町会／防災会として防災訓練を行いました。今年は小学校をお借りし、校庭及び体育館での訓練を予定しておりましたが、残念ながら雨天により体育館のみで実施。

- ・AED操作訓練
- ・三角巾訓練
- ・防寒新聞スリッパ作成
- ・防災ビデオ視聴
- ・防災お役立ち情報紹介(パネル展示)

を行い、**総計100名以上**の方に参加いただきました。



私自身は、**町会防災担当**として、消防署及び杉並区防災課との調整や参加記念品の手配、当日の進行管理を担当しました。

いざという時に少しでも落ち着いて対応できるよう、「定期的に訓練を行う」「自身の知識を深めていく」とともに、参加者からの意見等を、区政にも活かしていきたいと思いをします。

多世代交流ダーツ大会

2月12日(月・祝)、区立小学校体育館を会場にして行われた「多世代交流ダーツ大会」に、今年度もスタッフとして参加しました。今回は、多くの中学生(近隣中学校のボランティアダーツクラブの部員)がスタッフ兼選手として参加。私自身は、日頃「放課後子ども教室」で活動している小学校が会場ということもあり、主に設営(準備・片付け)と、試合の進行役を担いました。



昨年度までは「シニア交流ダーツ大会」でしたが、今回は「多世代交流ダーツ大会」となり、「中学生対大人」の試合も数多く見られました。

せっかくの「**世代を超えた交流の機会**」ですので、参加者が楽しみ、そして、中学生ボランティアにとって良い体験となるよう、今後ともスタッフとして携わり、「居場所づくり」や「教育・子育て」を考える一助としていきたいと思いをします。

プレ放課後等居場所事業

私が「放課後子ども教室」で活動している小学校において、令和6年度から、「放課後等居場所事業<sup>(\*)</sup>」が実施されることとなりました。

その準備の取組として、1月17日(水)に試行的取組が行われ、私も見学しました。

(\*)放課後等に、利用していない小学校内のスペース(校庭、特別教室等)を活用し、小学生に居場所と体験の場を提供する事業。

平成29年度から令和5年度まで、近隣小学校にて「放課後子ども教室」を地域の有志の方やPTA(現役及びOG)と協力して実施してきました。令和6年度からは、区の事業である「放課後等居場所事業」とコラボする形での開催となります。子供達にとって、より良い居場所と体験の場となるよう、「放課後等居場所事業」の運営事業者とも協力しながら新たな形を模索し、そこで得た知見等を、「**子供の居場所**」のより良い仕組みづくりに活かしていきたいと思いをします。



次回の定例区議会(令和6年第2回定例会)は、6月3日(月)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp

杉並区議会議員(無所属)  
岩田いくま 区政報告

第82号(令和6年春号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103  
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp  
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)



岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和5年5月より6期目。  
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。  
家族:妻、長男(21歳)、長女(18歳)、次男(16歳)。



- P.1 新たな「財政運営の基本的な考え方」について
- P.2 議会での活動について(予算特別委員会①)
- P.3 議会での活動について(予算特別委員会②) 調査活動について
- P.4 地域での活動について

区政経営改革推進計画(第2次)、策定される

～ “財政運営の基本的な考え方”がより堅実に ～

2月19日(月)の予算特別委員会において、新たな「杉並区 区政経営改革推進計画(第2次)」が示されました(計画期間は令和6年度～令和8年度)。

この中で示されている「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための基本的な考え方」が、**より堅実な方向へ修正**されました。

	これまで	令和6年度～
財政調整基金 の年度末残高	350億円 の維持に努める	450億円 の維持に努める
本庁舎建替 への備え	—	(仮称)本庁舎改築 基金を早期に設置

・災害時の備えとして200億円  
・著しい経済変動等への備えとして250億円

本庁舎の建築年度

	延床面積 (㎡)	建築年度
東棟	11,639	昭和38年竣工
		昭和45年増築
		平成5年改修
中棟	9,957	平成4年竣工
西棟	10,570	平成2年竣工



現在(令和5年度決算見込額)の財政調整基金残高は約574億円ですが、区債残高も約362億円であり、区立施設の老朽化や新たな行政需要への対応を考えると、決して余裕があるわけではありません。また、**区役所本庁舎の東棟は昭和38年(1963年)に竣工、昭和45年(1970年)に増築**をしており、平成5年(1993年)に耐震補強等を行っているとはいえ、**既に築60年を超えて**おります。現区長の選挙公約には「バラマキ」型の施策が多く、将来世代に負担を付け回すことへの危惧は依然抱いておりますが、区政の継続性・持続可能性の観点から、**財政面での“歯止め”をかける今回の修正は、評価**しております。今後は、(仮称)本庁舎改築基金の設置時期や積立方針をしっかりとチェックし、**実効性が担保されるよう留意**していきたいと思いをします。

## 予算特別委員会①

3月5日(火)～15日(金)、予算特別委員会が開催され、5日(火)、12日(火)に質問者として登壇しました。

以下、その一部を取り上げます。

\* 予算特別委員会の様子は、杉並区議会公式HPの委員会録画放映でご覧いただけます。



### 【質問でとりあげたテーマ】

5日	区債
	使用料
	事務手数料条例の改正
12日	介護保険事業会計等特別会計
	<b>コロナ対応の振り返り</b>
	事業の見直し・廃止等 (保健福祉部、子ども家庭部、環境部)
	<b>地域包括支援センター(ケア24)</b>
	特別養護老人ホーム
	<b>障害者就労支援</b>
	保健福祉部の組織改正
	<b>創エネルギー (P.3上段参照)</b>
学童クラブ	
	子ども家庭支援センター

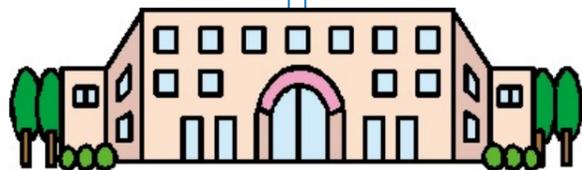
### 【障害者就労支援】

区では、令和6年度からの「短時間就労重度障害者の障害者雇用率への算定化」等にあわせ、「**重度障害者スタートアッププログラム**」を実施します。

- ①事業の概要。
- ②障害者を受け入れる企業に対する区取組を確認しました。

①週2回程度の通所により、働くための基礎知識や専門スキルを習得し、雇用促進につなげる。事業は杉並区障害者雇用支援事業団に委託して行う。

②業務の切り出しや障害者雇用に関する相談に応じるとともに、受入後も継続してフォローを行う。旨の答弁を得ました。  
一人ひとりのニーズに沿った多様な働き方に対応するための**新規事業**ですので、その取組を応援し、推移を見守っていきたく思います。



### 【コロナ対応の振り返り】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となつてから、間もなく1年となります。この間、「一定の落ち着きが見られた段階で、次の感染症対策に活かせるよう、区としての対応をまとめた記録を作成・公表すること」を求めてきました(例えば、令和5年2月13日、本会議場での代表質問)。  
未だ報告がないため、現状を確認しました。



- 保健所においては、令和5年12月に「取組と成果」をまとめた報告書を作成済である(但し、現段階では未公表)。
- 全庁的な取組については、記録をまとめた報告書が間もなく完成する。

旨の答弁を得ました。

私からは、

- ◆ 記録をまとめた報告書が完成次第、保健所の報告書を含め、**公表**すること。
- ◆ 全庁的な取組については、令和6年度に**検証**を行うこと。



### 【地域包括支援センター(ケア24)】

区では、令和6年度から、地域包括支援センター(ケア24)<sup>(\*)</sup>の機能強化を図るため、各運営事業者に対する財政支援を拡充する、としており、

- ①財政支援の拡充を行う背景・理由と拡充内容。について確認しました。

(\*)高齢者の方が、身の回りのことで不自由を感じた時や、家族の介護のことで困った時に相談できる身近な窓口。



- ①高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加し、相談内容も高度複雑化している。こうした状況に適合するよう、**人件費を中心に運営委託費を拡充**した。

旨の答弁を得ました。

更なる超高齢化の進展等を見据え、地域包括ケアシステム<sup>(\*)</sup>の中核となる**ケア24の機能強化は、私も必要だと感じております**ので、こうした取組は積極的に後押ししていきたく思います。  
(\*)高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で生活が続けられるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制。

## 予算特別委員会②

### 【創エネルギー】

昨年12月から、区では「**路面太陽光発電<sup>(\*)</sup>**」の試験導入をしております。

- ①数ある新技術の中から、路面太陽光発電を選んだ理由。
- ②**透明太陽光発電用パネル<sup>(\*)</sup>**、**ペロブスカイト太陽電池<sup>(\*)</sup>**の評価及び試験導入予定。

を確認しました。

(\*)既存の広場や駐車場などの舗装された路面に取り付けることができる太陽光発電システム。

(\*)窓ガラスとして使える透明な太陽光発電パネル。一般的な窓と同じ程度の透明度を維持しながら、遮熱性や断熱性も優れる。

(\*)ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造の材料を用いた新しいタイプの太陽電池。軽量で曲げるなどの加工がしやすい。



- ①再生可能エネルギーの一層の普及啓発を目指し、空間の有効活用の可能性について検証するため。
- ②ともに現在開発中の技術のため、具体的な導入予定はないが、動向を注視。

との答弁を得ました。

「杉並区での活用可能性」という視点で、**新たな技術の動向**にも目を配っていきたく思います。



## 調査活動

### 医療・教育・福祉の協働

2月17日(土)、西多摩療育<sup>(\*)</sup>支援センターのシンポジウム「一人一人の子どものための医療・教育・福祉の協働」をオンライン聴講しました。

(\*)療育・・・心身に障害をもつ児童に対して、社会人として自立できるように医療と教育をバランスを保ちながら並行してすすめること。



当日は休憩を挟みながら約4時間のプログラム。医師や大学教授、障害者基幹相談支援センター所長の講演及びディスカッションがありました。

- 居場所のあり方(柔軟な形で社会と関われる場や、福祉になじまない子の居場所の意義)
- 認容性に富んだ家庭の養育の大切さ等、様々なお話や見方・考え方を伺うことができましたので、区政の中でも活かしていきたいと思つています。

### 富士見ヶ丘まちづくり

1月13日(土)、富士見ヶ丘小学校で開催された「富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針(案)に関するオープンハウス」に参加しました。

#### ＜これまでの主な経過＞

令和2年1月	富士見ヶ丘駅改札前広場にてオープンハウス開催
令和2年6月	まちづくり方針(中間まとめ)公表
令和3年2月	アンケート調査の実施
令和5年8月	意見交換会の開催
令和5年11月	まちづくり方針(案)の策定
令和5年12月～令和6年1月	区民意見聴取
令和6年1月	<b>まちづくり方針(案)に関するオープンハウス開催</b>
令和6年3月	まちづくり方針策定



令和6年度以降は、「まちづくり方針に基づく取組の推進」が進められていきます(今年2月に策定された「杉並区実行計画(令和6年度～8年度)」にも掲載されています)。  
**地域に住む一人**として、今後の個々の取組にもしっかりと向き合っていきたいと思つています。